

スルホニルウレア系経口血糖降下剤

日本薬局方 グリメピリド錠

グリメピリド錠0.5mg「モチダ」

グリメピリド錠1mg「モチダ」

グリメピリド錠3mg「モチダ」

使用上の注意改訂のご案内

製造販売 トーアエイヨー株式会社／販売 持田製薬株式会社

この度、標記製品の「使用上の注意」を改訂しましたのでお知らせ致します。

今後のご使用に際しましては、下記内容にご留意くださいますようお願い致します。

また、改訂後の「使用上の注意」全文につきましては、改訂添付文書をご参照くださいますようお願い申し上げます。

■ 改訂内容（変更部のみ抜粋）

部：追加記載、部：削除（自主改訂）

改訂後	改訂前																								
<p>3. 相互作用</p> <p>本剤は、主に肝代謝酵素CYP2C9により代謝される。</p> <p>併用注意（併用に注意すること）</p> <p>(1) 血糖降下作用を増強する薬剤</p> <p>1)～2) 略</p> <p>3) 薬剤名等：作用機序</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>作用機序</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">略</td> </tr> <tr> <td>プロピオン酸系消炎剤 ナプロキセン ロキソプロフェンナトリウム水和物 等</td> <td rowspan="3">血中蛋白との結合抑制 [これらの消炎剤は蛋白結合率が高いので、血中に本剤の遊離型が増加して血糖降下作用が増強するおそれがある。]</td> </tr> <tr> <td>アリール酢酸系消炎剤 アンフェナクナトリウム水和物 ナブメトン 等</td> </tr> <tr> <td>オキシカム系消炎剤 ロルノキシカム 等</td> </tr> <tr> <td colspan="2">略</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	作用機序	略		プロピオン酸系消炎剤 ナプロキセン ロキソプロフェンナトリウム水和物 等	血中蛋白との結合抑制 [これらの消炎剤は蛋白結合率が高いので、血中に本剤の遊離型が増加して血糖降下作用が増強するおそれがある。]	アリール酢酸系消炎剤 アンフェナクナトリウム水和物 ナブメトン 等	オキシカム系消炎剤 ロルノキシカム 等	略		<p>3. 相互作用</p> <p>本剤は、主に肝代謝酵素CYP2C9により代謝される。</p> <p>併用注意（併用に注意すること）</p> <p>(1) 血糖降下作用を増強する薬剤</p> <p>1)～2) 略</p> <p>3) 薬剤名等：作用機序</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>作用機序</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">略</td> </tr> <tr> <td>ピラゾロン系消炎剤 ケトフェニルブタゾン</td> <td rowspan="2">血中蛋白との結合抑制、腎排泄抑制、肝代謝抑制</td> </tr> <tr> <td colspan="2">略</td> </tr> <tr> <td>プロピオン酸系消炎剤 ナプロキセン ロキソプロフェンナトリウム水和物 等</td> <td rowspan="3">血中蛋白との結合抑制 [これらの消炎剤は蛋白結合率が高いので、血中に本剤の遊離型が増加して血糖降下作用が増強するおそれがある。]</td> </tr> <tr> <td>アリール酢酸系消炎剤 アンフェナクナトリウム水和物 ナブメトン 等</td> </tr> <tr> <td>オキシカム系消炎剤 テノキシカム</td> </tr> <tr> <td colspan="2">略</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	作用機序	略		ピラゾロン系消炎剤 ケトフェニルブタゾン	血中蛋白との結合抑制、腎排泄抑制、肝代謝抑制	略		プロピオン酸系消炎剤 ナプロキセン ロキソプロフェンナトリウム水和物 等	血中蛋白との結合抑制 [これらの消炎剤は蛋白結合率が高いので、血中に本剤の遊離型が増加して血糖降下作用が増強するおそれがある。]	アリール酢酸系消炎剤 アンフェナクナトリウム水和物 ナブメトン 等	オキシカム系消炎剤 テノキシカム	略	
薬剤名等	作用機序																								
略																									
プロピオン酸系消炎剤 ナプロキセン ロキソプロフェンナトリウム水和物 等	血中蛋白との結合抑制 [これらの消炎剤は蛋白結合率が高いので、血中に本剤の遊離型が増加して血糖降下作用が増強するおそれがある。]																								
アリール酢酸系消炎剤 アンフェナクナトリウム水和物 ナブメトン 等																									
オキシカム系消炎剤 ロルノキシカム 等																									
略																									
薬剤名等	作用機序																								
略																									
ピラゾロン系消炎剤 ケトフェニルブタゾン	血中蛋白との結合抑制、腎排泄抑制、肝代謝抑制																								
略																									
プロピオン酸系消炎剤 ナプロキセン ロキソプロフェンナトリウム水和物 等	血中蛋白との結合抑制 [これらの消炎剤は蛋白結合率が高いので、血中に本剤の遊離型が増加して血糖降下作用が増強するおそれがある。]																								
アリール酢酸系消炎剤 アンフェナクナトリウム水和物 ナブメトン 等																									
オキシカム系消炎剤 テノキシカム																									
略																									

■ 改訂理由

先発品の自主改訂に伴い、本剤も同様に「相互作用 併用注意」の項において、販売中止となった薬剤に関する記載を削除し、記載整備を致しました。

【この「使用上の注意改訂」の内容は、医薬品安全対策情報（DSU）No.257に掲載される予定です。】

- ・ 医薬品医療機器総合機構ホームページ (<http://www.pmda.go.jp>) に最新添付文書並びにDSUが掲載されます。
- ・ 最新添付文書は弊社ホームページ (<http://www.mochida.co.jp>) にてご覧いただけます。